

平成 29 年度全国学力・学習状況調査(小学校)

**国語 A**

主として「知識」に関する問題

**平均正答率**

市 78%  
国 [74.8%]  
県 (77%)

**区別定着状況**

【話すこと・聞くこと】 79.7% [69.2%] (70.3%)  
【書くこと】 61.2% [60.6%] (62.5%)  
【読むこと】 71.3% [70.2%] (71.3%)  
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 81.4% [78.0%] (79.7%)  
※ [ ] 内は全国平均を, ( ) 内は県平均を表します。

**正答率の高い設問(上位3問)**

- 漢字を読む (指示)  
(問7(6)) 97.8% [94.5%] (95.9%)
- 漢字を読む (申しこみ期限)  
(問7(3)) 97.1% [94.5%] (95.2%)
- 漢字を読む (事務室前)  
(問7(4)) 93.5% [88.8%] (91.1%)

**正答率の低い設問(下位3問)**

- 漢字を書く (参加たいしょう)  
(問7(1)) 34.8% [42.0%] (43.1%)
- 手紙の構成を理解し、後付を書く  
(問2二) 38.4% [41.5%] (45.7%)
- 俳句の情景を捉える  
(問4二) 58.0% [57.0%] (45.7%)

**国語 B**

主として「活用」に関する問題

**平均正答率**

市 61%  
国 [57.5%]  
県 (61%)

**区別定着状況**

【話すこと・聞くこと】 70.8% [64.9%] (70.3%)  
【書くこと】 58.3% [53.4%] (57.2%)  
【読むこと】 55.6% [49.2%] (51.4%)  
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 設問なし  
※ [ ] 内は全国平均を, ( ) 内は県平均を表します。

**正答率の高い設問(上位3問)**

- 目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す  
(問1一) 76.1% [77.2%] (80.5%)
- スピーチメモのよさを捉える  
(問1二) 75.4% [69.2%] (73.1%)
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える  
(問3一) 75.4% [75.9%] (78.1%)

**正答率の低い設問(下位3問)**

- 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く  
(問2三) 34.1% [33.0%] (36.7%)
- 発言の意図を捉える  
(問3二) 34.1% [28.0%] (29.5%)
- 叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる  
(問3三) 57.2% [43.7%] (46.5%)

結果から考える

**○考察**

国語A、国語Bともに全国平均を上回っており、これらの学習内容はおおむね定着していると考えられます。

**○今後の指導について**

今後、国語Aに関しては、実生活において手紙を書く際、「前文」「本文」「後付け」といった手紙全体の構成や、後付における署名の宛て名の位置関係といった手紙の基本的な形式などについて指導を充実させる必要があります。

また、国語Bに関しては、目的や意図に応じ、取材した複数の内容を整理して記事を書かせたり、文章と図などを関係付けて、自分の考えをまとめさせたりするなどの指導を充実させる必要があります。